

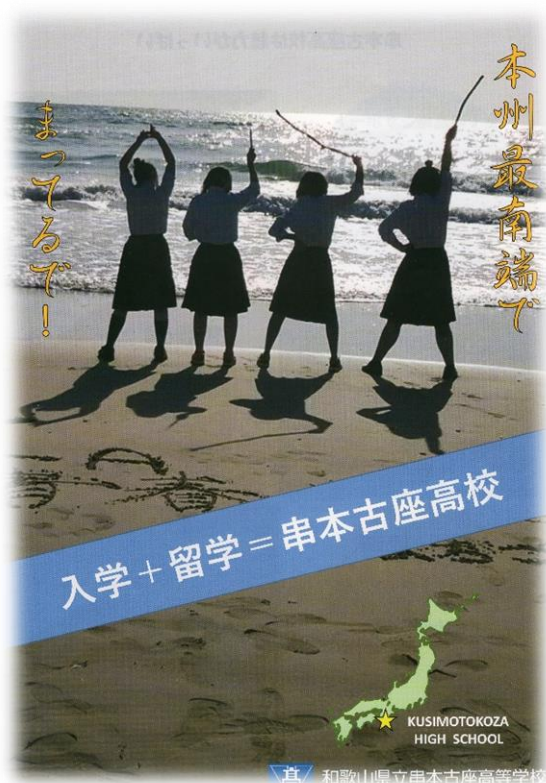
和歌山県立串本古座高等学校

広報くしこざ

編集：発行：串本古座高等学校地域協議会

INDEX

- ・令和2年度12月～3月のトピックス …… 1～3
- ・地域協議会 …… 4～5



令和2年度二学期の動き

12月

○ 吹奏楽部 打楽器五重奏



アンサンブルコンテスト直前に、コロナウイルス感染症の影響もあり練習時間が限られるなかでし

たが、日頃の練習成果を披露しました。

○ イルミネーションを点灯



今年度は様々な学校行事が延期や中止となってきました。文化祭の中止を決定してから、生徒会が何か

をしたいと教員に相談。そして、様々な企画の発案の中から、玄関前にイルミネーションを点灯させました。



12月23日にはイルミネーションに囲まれて吹奏楽部がミニコンサートを実施しました。

短い時間ではありましたが、聞き慣れたクリスマスソングの演奏が行われました。17:30からの開演でありましたが、生徒をはじめ、職員、近隣にお住まいの方と多数にお越しいただきました。

お越しいただいた皆様、ありがとうございました。

○ ゲーム依存の予防と対策



12月23日和歌山大学 豊田教授をお招きし、依存症予防教育の特別授業を実施しました。

授業では、アニメやマンガを活用し、スマホやパソコンの使用時間やトラブルなど、生徒にとっても身近な話題を取り上げ、生徒からも実際に生徒自身が1日どれくらい使用しているかと問いかけたり、生徒に考えさせるなど、生徒が参加する形態で行われ、分かりやすくお話いただきました。

○ 書道パフォーマンス



昼休みに体育館で行われました。

お昼休みの体育館には、たくさんの生徒および教職員が集まり、パフォーマンスの様子を眺めていました。この様子の動画はFacebookで公開しています。

令和2年度三学期の動き

1月

○ ロケットワークショップ

ワークショップでは高校生の考える「おもてなし」や物品販売、新商品の開発など様々なアイデアが出されました。



作業はグループに分かれて行われ、顧問のアドバイスのもと次から次へとアイデアを出し、

考え出されたものを最後に発表する形で行われ、参加いただいた串本町役場、観光協会の方たちから意見や質問を受けました。

○ 1人1台PC導入に向けて



昨年末、1人1台PCが納入され、一部の授業では使用を始めていますが、全教員が使用する

ことを前提に、研修を実施しました。

研修では、PCの環境とクラウドへの接続、Web会議の使い方など基本的な使い方など、本来使っているPCとの違いについて理解を深めました。

また、納入と同時に各教室にはWi-Fi環境が整備され、このPCを使用するとインターネットに接続することが可能となっています。現在、PCの持ち出しは許可していませんが将来的には持ち出し可能となる予定です。

2月

○ 資料館「はまゆう館」開館



「はまゆう館」は古座校舎に保存されていた、旧古座高校に縁のある品々や資料を「古座高校資料館」として公開することになりました。2月21

日に関係者および学校運営協議会委員に向け

た内覧会を行いました。

一般への公開はコロナウイルス感染症の状況を注視しつつ判断し、開館日時や公開方法については学校HPに掲載します。

○ 第3回学校運営協議会

第3回学校運営協議会では令和2年度および令和3年度学校運営についてご意見をいただき、協議後は古座高校・串本古座高校資料館について説明を行い、資料館を見学しました。

3月

○ 卒業式



3月1日、コロナウイルス感染症予防の観点から、卒業生、保護者、職員および生徒会役員に出席者を限定し規模を縮小する形で実施しました。

○ JR防災講習



例年、夏休み中に実施していた合同避難訓練がコロナウイルス感染症の影響で、今年度は実施で

きていませんでしたが、3月9日に本校体育館でJRの方にお越しいただき、列車乗車中に被災した場合の対応や取るべき行動についてスライドを用いて説明をいただきました。



した。

○ 吹奏楽部定期演奏会



3月14日（日）本校体育において定期演奏会を実施しました。例年は広報を行い実施してきましたが、今年度は部員の保護者や本校職員等関係者に限定しての実施となりました。演奏は約2時間にわたり様々な楽曲を披露しました。



定期演奏会ではOB・OGに協力をいただき実施することができました。様々な制約があるなかご協力いただいた皆様には感謝いたします。

○ 学習成果発表会



説明後は実際にホーム以外の場所で列車から降車する場合に使用するハシゴの取扱い方法を学びまし

3月18日、串本町文化センターにおいて行いました。発表会は4部で構成され、第1部のオープニングでは吹奏楽部が演奏を行いました。

第1部では、海洋環境、マリンスポーツ、串本デュアルの授業を体験した生徒が、スライドを用いて授業の説明などを行いました。

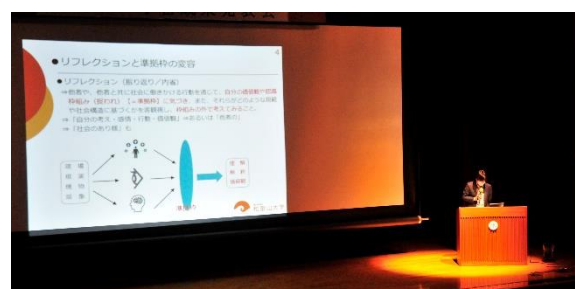
第2部は、「串本町・古座川町の魅力化・活性化に私ができること」をテーマにパネルディスカッションを行いました。



第3部は分科会に分かれて行いました。



第4部の閉会式では和歌山大学准教授西川 一弘 先生より講評をいただき発表会を終了しました。



串本古座高等学校 地域協議会



全国募集生徒4名が卒業！

令和3年3月には、全国募集で串本古座高校にやってきた生徒4名が、3年間の「学び」を終了して学び舎を巣立ちました。

地元（串本町・古座川町）に就職した生徒が2名、進学した生徒2名がその内訳です。

特に地元への就職に関しては昨年度の卒業生と合わせて3名となりました。若い人たちがどんどん流出する現状にあって、地域の貴重な担い手となることを期待しています。和歌山県と串本町・古座川町がちからを合わせて取り組んできた「全国募集」が、今、やっと成果として花開いてきたのではないのでしょうか。令和3年度も2名が全国募集枠を使って入学してくれました。本州最南端の地で大きく成長してくれることを期待しています。

串本古座高校は全国から生徒を募集しています！



全国募集で入学した生徒の保護者からの寄稿

令和2年度に入学した生徒の保護者に、全国募集を選択するにあたっての葛藤や串本古座高校での1年間を振り返っての感想を執筆依頼したところ、快く寄稿してくださいました。募集に関わってきた担当者や町の関係者にとってたいへんありがたく心強い内容となっています。以下、原文のままです。

和歌山県には、縁もゆかりもなく、合同学校説明会に参加して候補を見つけ、夏休み等に何校か見学に行った一つが串本古座高校でした。

本人が志望した理由は、野球部があることでした。高校生活に唯一望んでいたことは、野球をすることだったようです。我々にとっては「くろしお塾」や独自のカリキュラム、進学や就職の実績がプラスポイントでした。不安で決めかねた理由は三つあります。寮や下宿がなく、一人暮らしをするということ。我々にも経験のない海沿いの生活、津波の恐れがあること。受験の時期が異なり、都内の私立併願ができかねたこと。本人の意思を何度も何度も確認し、不安な点については何度も学校に問い合わせるなどし、決断しました。無事に合格通知を頂いても、何度も足を運ぶことが難しく、住居の決定や手続き等で大変な思いをしたように思います。コロナ禍に突入したばかりで、入学前から様々な対応を頂きました。先行き不透明な世の中にありながらも、串本に行って良かったと感じていました。休校期間も家事に十分に慣れることができたプラスに考えられました。学

習に向かう姿勢や、生活面でのことなど、課題の多い子です。少人数であることに加えて全国募集であることで、生活支援員の先生をはじめ多くの方に目をかけて頂けていることが、本当にありがたいです。地元にはいたらそうはいきません。先生方がよく連携して見てくださっているので安心ですが、お任せしっぱなしで申し訳ないくらいです。また、野球部に所属したことで、常に仲間がそばにいるということも大きな安心に繋がっています。この二月、硬式野球部後援会のご尽力によって寮ができ、生活を新たにしました。一人暮らしも良いものでしたが、仲間との生活もまた学び多きものになると思います。

串本は、本当にいいところですよ。素敵な場所で三年間を過ごせるのが、我が子ながら本当に羨ましいです。もっと多くの方に串本の魅力を知ってもらい、全国募集でぜひ多くの方に選んで頂きたいです。学校及び地域協議会の皆様には、安心して住める住居の確保と、地域との一層の連携を推進して頂けたらと思います。

【松本 美佐】

生徒向け活動資金支援もしています

地域協議会は生徒の自主的な活動も支援しています。支援の名称は「豊かな生徒づくり応援助成金」です。

目的は2つあります。一つは生徒の活動に対して資金を支援することです。2つ目は行政などに助成金を申請したり請求したりする事務手続きを、そっくりそのまま「応援助成金手続き」に当てはめているので、そうした手続きの練習としてです。



（学校玄関前イルミネーション点灯）

令和2年度「豊かな生徒づくり応援助成金事業」

たとえば、各地区が防犯灯の補助金を町から受ける場合は、「申請」「実績報告」「補助請求」などの手続きが必要とされます。これと同じような手続きを生徒にしてもらい、活動の資金を得るとともに補助金や助成金を得るための流れを知ってもらう狙いもあります。

生徒会が年末年始に実施した「イルミネーション点灯」もこの手続きを踏んで費用の一部に充てました。このように社会のシステムを学習する機会として捉え、積極的にこの助成金を使ってもらえたらと思います。

くろしお塾の利用者が増えています

令和2年度のくろしお塾の利用者は延べで3,844人になりました。地域協議会では学習机5台を追加で購入しました。



※詳しくは次号でお知らせします。